

E L I C ビジネス & 公務員 専門学校

学校関係者評価報告書

平成 27 年度

記載者 木村 公一

目次

| | |
|-------------------------------|---|
| 1. 学校関係者評価委員 | 2 |
| 2. 学校関係者評価委員会の開催状況 | 2 |
| 3. 学校関係者評価委員会からの提出物 | 2 |
| 4. 学校関係者評価委員会後の処理手順 | 2 |
| 5. 学校関係者評価委員による評価及び意見、今後の改善施策 | 3 |
| (1) 教育理念・目的・人材育成像 | 3 |
| (2) 学校運営 | 3 |
| (3) 教育活動 | 4 |
| (4) 学修成果 | 5 |
| (5) 学生支援 | 6 |
| (6) 教育環境 | 6 |
| (7) 学生の受入れ募集 | 7 |
| (8) 財務 | 7 |
| (9) 法令等の遵守 | 8 |
| (10) 社会貢献・地域貢献 | 8 |
| (11) 国際交流 | 9 |
| (12) 学校関係者評価委員のご意見 | 9 |

1. 学校関係者評価委員

- ①山村 桃子 (株式会社フリースタイル)
- ②磯部 育義 (金山橋連合商店街振興組合 理事長)
- ③佐藤 朋子 (公務員科2年 保護者)
- ④金子 弘二 (情報処理科2年 保護者)
- ⑤赤羽 賢一 (平成11年度 商学科 情報処理コース 卒業生)
- ⑥山口 昌洋 (平成14年度 商学科 卒業生)

2. 学校関係者評価委員会の開催状況

学校関係者評価委員会

平成28年5月21日10:00~11:45 (会場 本校 702教室)

(事前に資料を送付、自己評価報告書、学生便覧、学校案内など)

3. 学校関係者評価委員会からの提出物

- ①学校関係者評価委員会議事録 (作成: 山口 昌洋)
- ②学校関係者評価委員アンケート

4. 学校関係者評価委員会後の処理手順

- ①議事録、アンケート集計 (学校評価担当者 木村)
- ②学校関係者評価報告書作成 (学校評価担当者 木村)
- ③今後の改善案の策定 (自己評価委員会)
- ④平成27年度自己評価報告書及び平成27年度学校関係者評価報告書を学校評価として理事長に提出 (6月末)
- ⑤本校ホームページの報告書を掲載 (7月末)

3. 学校評価委員会報告

(1) 教育理念・目標

「適切：4」、「ほぼ適切：3」、「やや不適切：2」、「不適切：1」

| | |
|--------------------|---------|
| 学校関係者評価委員の平均評価ポイント | 3.33 PT |
|--------------------|---------|

■ご意見等

- ①教育理念、目標の項目は評価が4.0になるべきである。様々な媒体で明文化されている。関係者に周知徹底し、それでも、評価が上がらない場合は、違う面で問題がある。
- ②社会ニーズ等を踏まえることは難しいが、新聞、雑誌、インターネット、企業訪問、職業関係機関による情報収集を行い、年度単位で改正する必要がある。

■今後の改善方針

- ・原点に立ち返り、「建学の精神」「学校方針」「学科の特徴」を再確認する作業を徹底する。
- ・重要項目の評価基準を明確化する。
- ・常に社会のニーズを確認し、カリキュラムへの反映を毎年検討する。

(2) 学校運営

「適切：4」、「ほぼ適切：3」、「やや不適切：2」、「不適切：1」

| | |
|--------------------|---------|
| 学校関係者評価委員の平均評価ポイント | 3.20 PT |
|--------------------|---------|

■ご意見等

- ①学校運営の現状をみると、評価が4.0になって良いと感じる。評価者の声に耳を傾け評価者間で認識の共有を行う必要がある。

■今後の改善方針

- ・学校方針（就職・公務員・大学編入の進路を確保する）を展開する運営になっているかを検証する。
- ・重要項目の評価基準を明確化する。

(3) 教育活動

「適切：4」、「ほぼ適切：3」、「やや不適切：2」、「不適切：1」

| | |
|--------------------|---------|
| 学校関係者評価委員の平均評価ポイント | 3.60 PT |
|--------------------|---------|

■ご意見等

- ① e、l 項目の現状を確認すると、関連分野における連携が軽んじられていると感じる。
- ② f 項目については、「社会に貢献できる人材を育成する」という建学の精神を尊重し、社会との繋がりを大事にしていきたい。
- ③ 学生の目線になって、再度教育活動を再構築する必要がある。
- ④ 大人としての言葉遣い、大人としての考え方、人間力のつけられる教育を目指して欲しい。
- ⑤ 社会にでたら積極性が重要となるため、競争心を煽るような教育も必要である。
- ⑥ ボランティア等の活動で人間性を高めて欲しい。金山夏祭りは初年度から11年間 ELIC の学生と共に開催してきた。人間的対応力を伸ばす方法として活用して欲しい。
- ⑦ 高校の出身科（普通科、商業科）の違いによる、専門的な知識、学力の差を埋めるために、質の向上が望まれる。
- ⑧ 学校としてあらゆる面で「甘い」と感じる。学校環境と社会で働く環境に大きな差があり、社会の厳しい環境を経験させ伝える必要がある。
- ⑨ 教育の徹底を望む。基本的なスキル、ビジネスマナー、コミュニケーション能力不足を感じており、現状は企業で再教育をしている。
- ⑩ 社会のニーズに対応するため、教員自らスキルを伸ばし、教育する内容を再検討する必要がある。

■今後の改善方針

- ・社会ニーズをしっかりと確認するとともにカリキュラムへの反映を検討する。
- ・教職員研修の機会を増やすとともに自ら学ぶ教職員集団への志向を目指す。

(4) 学修成果

「適切：4」、「ほぼ適切：3」、「やや不適切：2」、「不適切：1」

| | |
|--------------------|---------|
| 学校関係者評価委員の平均評価ポイント | 3.00 PT |
|--------------------|---------|

■ご意見等

- ① a～c項目については、データで評価する必要がある。年経変化で傾向分析を行い、結果に基づき対策を打つ。また目標を定め細かく管理するなど必要性を感じる。
- ② 学生のキャリア形成、将来のビジョンを明確にしてあげる必要がある。
- ③ 現在の若者は勤労意欲に欠ける者が多く、「働くこと」が当然という雰囲気づくりをするべきである。
- ④ アルバイト、ボランティアを含め、学生に社会経験を積上げさせる工夫が必要である。

■今後の改善方針

- ・ 「就職・公務員・大学編入の進路確保」を学校運営方針に揚げながらも、就職率100%になっておらず、企業への定着率も高いとはいえない。そのような不都合な現実ともしっかり向き合い、率の向上を目指す施策を実施し、学校の重要項目であるという意識を学内で醸成する。
- ・ 社会ニーズの収集
 - ① 全教員による企業訪問の実施。
 - ② 情報収集のための訪問企業を18社選定する。(指導部)
 - ③ 調査項目は指導部が作成し、運営委員会で決定する。
 - ④ 情報回収、報告書は指導部が作成する。

(5) 学生支援

「適切：4」、「ほぼ適切：3」、「やや不適切：2」、「不適切：1」

| | |
|--------------------|---------|
| 学校関係者評価委員の平均評価ポイント | 3.40 PT |
|--------------------|---------|

■ご意見等

- ① 学生の立場に立って、就職を支援することが有効である。
- ② 学校から企業へのアプローチが少ない。他の専門学校も同様であり、積極的にアプローチすることで差別化が図れる。
- ③ 学校所在地周辺の求人だけでなく、在校生の出身地に合わせ求人企業の拡大を推進する。Uターン就職に関する情報提供など、学生に個々に必要な情報を提供することにより他の学校との差別化が図れる。
- ④ 「フリーターにしない」という言葉に魅かれた。本日の卒業生の発言を聞き、改めて良い学校であると再認識した。

■今後の改善方針

- ・ 面倒見の良さを具体的に項目化する。
- ・ 「面倒見の良さ」については一定の評価をいただいているが、面倒見の内容とレベルについては、常に検証する必要がある。

(6) 教育環境

「適切：4」、「ほぼ適切：3」、「やや不適切：2」、「不適切：1」

| | |
|--------------------|---------|
| 学校関係者評価委員の平均評価ポイント | 3.60 PT |
|--------------------|---------|

■ご意見等

- ① IT 関連設備は十分整っており、さらなる機器・機材への設備投資は必要ない。現状の設備で工夫して授業に取り組むべき。また、学生自身も現在の環境での創意工夫が成長に繋がる。無駄に豪華な IT を含む環境の必要性は感じない。
- ② 現状のインターンシップに疑問が残るのであれば、課題にする必要がある。

■今後の改善方針

- ・ 効果的なインターンシップについて改善の余地がある。
 - ① 学生の意識形成に役立つこと。
 - ② 就職実績に繋がること。
 - ③ 本校と企業との信頼関係が深まること。

(7) 学生の受入れ募集

「適切：4」、「ほぼ適切：3」、「やや不適切：2」、「不適切：1」

| | |
|--------------------|---------|
| 学校関係者評価委員の平均評価ポイント | 2.80 PT |
|--------------------|---------|

■ご意見等

- ①現状の入学数からみると定員に到達できていない。評価とすれば甘いと感じる
- ②学校の強みをしっかりと伝えられるような、個性的なパンフレットを作る必要性がある。
- ③広報を効果的に実施するために、何故専門学校なのか、何故 ELIC なのかを探り下げる必要性がある

■今後の改善方針

- ・学科、コースごとの特徴をさらに特化させアピールする。

(8) 財務

「適切：4」、「ほぼ適切：3」、「やや不適切：2」、「不適切：1」

| | |
|--------------------|---------|
| 学校関係者評価委員の平均評価ポイント | 2.60 PT |
|--------------------|---------|

■ご意見等

- ①平成 31 年度は 18 歳人口の底となる。早急に 3 年～5 年の中期計画を策定すべきである。
- ②ニーズや学校規模に合った広報を行うべき、予算的に多すぎる。強み(ブランド)の確立が必要。
- ③社会人受け入れなど財務基盤安定に向けて手を打つ必要がある。
- ④卒業生としては、教育の現場であっても安定経営で継続して欲しい。
- ⑤少子化に伴い、財務は緊迫した状態が予想され、評価に甘さを感じる。

■今後の改善方針

- ・継続的な対策となるが、常に無駄な経費を圧縮する努力と必要項目への効果的な経費活用を検討する。

(9) 法令等の遵守

「適切：4」、「ほぼ適切：3」、「やや不適切：2」、「不適切：1」

| | |
|--------------------|---------|
| 学校関係者評価委員の平均評価ポイント | 2.80 PT |
|--------------------|---------|

■ご意見等

- ① a、.b の項目は 4.0 でなくてはいけない項目である。

■今後の改善方針

- ・重要項目の評価基準を明確化する。

(10) 社会貢献・地域貢献

「適切：4」、「ほぼ適切：3」、「やや不適切：2」、「不適切：1」

| | |
|--------------------|---------|
| 学校関係者評価委員の平均評価ポイント | 3.50 PT |
|--------------------|---------|

■ご意見等

- ① ボランティア活動を出来るだけ沢山のの人に経験させて欲しい。地域に貢献できる校外清掃は、とても良い企画であると感じた。

■今後の改善方針

- ・無理なく継続的に社会貢献するために、現状の実施項目の内容とレベルを検証する。そして実施項目については学内外に当該活動の意味を伝え、学内関係者の自信と誇りにも寄与できるようにする。

(1 1) 国際交流

「適切：4」、「ほぼ適切：3」、「やや不適切：2」、「不適切：1」

| | |
|--------------------|---------|
| 学校関係者評価委員の平均評価ポイント | 3.60 PT |
|--------------------|---------|

■ご意見等

- ①日本語力の他に日本で生活するためのモラル教育に力を入れる必要性がある。
- ②留学生の労働力は、日本の労働人口減少にともない、その必要性は増してくる。留学生教育を通して、日本の労働力につなげてほしい。必要なのは「人間力」であると感じる。

■今後の改善方針

- ・日本で生活をするために必要なモラル指導を実施する。
- ・日本の社会に結びつけられるよう、日本語能力向上とパソコン、経理、マーケティングスキルの習得を目指す。

(1 2) 学校関係者評価委員会からのご意見

- ①毎年、商店街のイベント開催にあたり、深いご理解を頂き、本当に感謝しています。
- ②全体的に評価は4.0を目指す必要がある。(1)、(2)、(9)、(10)の項目は少し配慮すれば、4.0になると感じる。自己評価との意思疎通が重要である。
- ③体験入学や保護者説明会に参加いたしましたが、熱心な先生が多く、素晴らしい学校であると感じています。
- ④自信を持ってELICの魅力を紹介すれば、業界等を巻き込んで、良い学校づくりが進められると感じます。
- ⑤卒業生として、いつまでも明るく、楽しい学校であり続けて下さい。

以上